

第4次厚真町総合計画 実施計画シート

事業名	起業家人材育成事業	担当課	担当グループ	作成者(職・氏名)
		4 産業経済課	41 経済グループ	主幹 宮 久史

実施計画年度(期間)
R 3 年度 (R3 ~ R5)

事業評価対象年度
R 2 年度

1 基本事項

事業区分	事業開始年度	平成 28 年度	事業主体	会計区分	予算科目					
	事業終了年度	令和 7 年度			1 町	1 一般	7 1 3	1271 1		
事業の性質	法令に基づかない自主的事业								条例等の有無	有
根拠法令・規程計画等	厚真町地域おこし企業人設置要綱等									
総合計画	基本目標	3	みのり豊かなあつま							
	基本施策	12	商工業の振興							
	施策項目	122	起業・新分野への進出と6次産業化への支援							
	復旧・復興計画	21	なりわい(仕事)の再生・産業基盤の復旧							
	総合戦略	11	(しごと)町の資源を生かす持続可能な事業・産業の創出							
政策展開方針(R2~R6)	厚真町強靱化計画	5112	新たな産業の創出と雇用機会の拡大							
	大項目	3	育成と挑戦							
	中項目	5	次世代の育成と教育環境の充実							
施策項目	3502	地域おこし協力隊、地域おこし企業人などの招聘								

2 事業概要(Plan)

事業の目的	活力ある地域創出に向け、厚真町では(1)人材の誘致と育成、(2)産業創出、(3)関係人口の創出を一体的に進める。それにより、移住者だけでなく既存の町民も参加する持続的に挑戦を産む町民文化を育み、人が人と呼ぶ循環を創出することを目的とする。
事業の内容(手段・方法等)	①起業家人材等育成支援団体がハブとなり実施する自治体広域連携による「ローカルベンチャー」推進事業 ②厚真町ローカルベンチャースクールの企画運営と広報活動 ③地域メディアによる情報発信事業 ④ふるさと納税者も含めた関係人口創出 ⑤講演会や協力隊の活動報告会開催などによる町内での起業に向けた雰囲気醸成 ⑥起業もしくは事業規模の拡大を図る事業者向けの補助事業
対象	①移住検討者②ふるさと納税者③地域おこし協力隊及び町内起業家 ④事業拡大を望む町内事業者⑤厚真町もしくは地域の活動に興味を持つ者
成果目標	5年間で新規起業数15社程度

3 実施結果(Do)

① 事業費

単位：千円

事業費の推移		H28(前期1)	H29(前期2)	H30(前期3)	R1(前期4)	R2(前期5)	R3(後期1)	R4(後期2)	R5(後期3)	R6(後期4)	R7(後期5)
		決算→決算見込み・予算・計画	決算→決算見込み・予算・計画	決算→決算見込み・予算・計画	決算→決算見込み・予算・計画	決算→決算見込み・予算・計画	決算→決算見込み・予算・計画	決算→決算見込み・予算・計画	決算→決算見込み・予算・計画	決算→決算見込み・予算・計画	決算→決算見込み・予算・計画
事業費		31,297	59,772	64,000	79,223	71,832	42,629				
特定財源	国支出金	15,530	25,828	21,874	24,991	24,006	21,100				
	道支出金										
	町債										
	その他			11,540	13,356	13,356					
一般財源		15,767	33,944	30,586	40,876	34,470	21,529				
人件費(@4,000/時間数)		1,788	1,788	1,788	1,788	1,788	1,788				
積算根拠						旅費50千円 ローカルベンチャー推進事業委託料30,855千円 ローカルベンチャー推進協議会負担金7,000千円 地域おこし協力隊活動費・報償費23,770千円 新規事業開発支援補助金10,000千円 委員報償費：80千円 委員費用弁償：77千円	旅費429千円 ローカルベンチャー推進事業委託料35,200千円 ローカルベンチャー推進協議会負担金7,000千円				
主な年次計画(取組)						ローカルベンチャースクール開催、ファンサイト運営、関係人口創出、講演会の開催など	ローカルベンチャースクール開催、ファンサイト運営、関係人口創出、講演会の開催など				
ヒアリング指示事項※企画調整G記入欄											

② 実績・成果

指標名称(前期)		H28(前期1)		H29(前期2)		H30(前期3)		R1(前期4)		R2(前期5)		R3(後期1)		R4(後期2)		R5(後期3)		R6(後期4)		R7(後期5)	
		数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位	数量	単位
主な活動指標	ローカルベンチャースクール応募者数	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人
	目標	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人	10	人
	実績	6	人	21	人	15	人	8	人	9	人		人		人		人		人		人
	達成度	60	%	210	%	150	%	80	%	90	%		%		%		%		%		%
※数値化できない活動内容や指標の変更等について記載する	講演会等開催数																				
主な成果指標	新規事業体数(起業数)			3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社
	目標			3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社	3	社
	実績			5	社	6	社	7	社	4	社		社		社		社		社		社
	達成度		%	170	%	200	%	230	%	130	%		%		%		%		%		%
※数値化できない成果や指標の変更等について記載する																					

4 事業の評価(Check)

評価項目	評価の視点	評価結果	説明
妥当性	実施主体・目的・対象・手段等は公平かつ妥当か?	A	実施主体は十分な知見を持った町内事業体となっており妥当。目的は総合戦略に則っており妥当。対象として町外・町内者を共にターゲットとしており妥当。手段においては複数の事業に対し一体的に取り組むことで相乗効果が生まれており効果的。
有効性	期待された成果が得られたか?	A	年によってローカルベンチャースクール採択者数や、起業数には差があるものの、平均すると期待された成果が得られている。また、ローカルベンチャーたちの知り合いが移住、起業する例も散見され始めており成果はある。
効率性	コスト面からみた費用対効果は適正か?	A	ローカルベンチャー育成・誘致、情報発信、関係人口創出、町内向けの講演会等の開催を一括して実施することで、それぞれの事業間の相乗効果を生んでおり費用対効果は適正である。

※評価結果は、A：妥当である B：概ね妥当である C：あまり妥当でない D：妥当でない で評価する

5 今後の方向性・課題・改善提案等(Action)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持
理由	新規事業の創出に貢献し、コミュニティサイトにより域外の方に情報発信ができており、今後も必要な事業				
課題および改善提案	<ul style="list-style-type: none"> ローカルベンチャースクールへの参加者の増加に向けた手法の検討 雇用を生む産業創出 関係人口のカウント方法 町民に向けた情報発信 				

※予算・サービスは「継続(拡大・現状維持・縮小)」および「終了」から、方向性は「拡大」「現状維持」「縮小」「終了」から選択する。

6 内部評価(本欄は、内部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

予算	継続(現状維持)	サービス	継続(現状維持)	方向性	現状維持	意見
						対象者の町内でのビジネスチャンスを生かした起業化を支援し、地域産業の活性化に資することから、現状維持による事業継続が妥当である。

7 外部評価(本欄は、外部評価委員会で使用するため事業担当課は入力しないでください。)

評価実施年月日	R 3 年 10 月 29 日	予算	継続(現状維持)	サービス	継続(拡大)	方向性	現状維持
付帯意見(全体意見)	<p>○事業規模が大きいことから、町民に対する事業説明においては多くの理解を得る必要がある。</p> <p>○本事業の軌跡・成果をまとめ、広報紙をはじめ様々な手法により町民に報告すべきである。</p> <p>▶以上から、予算・方向性は現状維持としつつ、サービスを拡大することが望ましい。</p>						
その他意見(個別意見)	○起業にあたって必要不可欠な、地域住民の理解を得るための取組を引き続き実施願いたい。						

8 外部評価に対する町の考え方

回答年月日	R 4 年 3 月 31 日
付帯意見に対する回答	<p>○町民の理解を得るため、情報発信を強化していきます。以前より、委託事業者管理のホームページによりローカルベンチャーの紹介を行っていましたが、町が管理するホームページを制作しローカルベンチャーを紹介する他、事業の紹介をしていきます。</p> <p>○広報紙では地域おこし協力隊員の紹介を行っていますが、加えて特集記事として事業の紹介をする等広報担当と連携して発信していきます。</p> <p>○地域おこし協力隊活動報告会では、さらに多くの町民に参加いただくことを目標とし、また会の中での事業の趣旨説明をさらに強化していきます。</p> <p>○事業の成果を示す手法について、より分かりやすい表現を検討します。</p>
その他意見に対する回答	○上記のように、事業への理解を得るよう情報発信を強化していきます。